

平成25年の建設工事等におけるガス損傷事故

発生日	都道府県	工事	ガス	人的被害	事故概要
1/11	京都	建築工事	都市ガス	0	他工事業者(建築工事業者)が新築工事における通路工事中、ツルハシにて埋設灯外内管を破損し、漏れたガスにアスファルト舗装用予熱器の火が引火。着火箇所消火器にて消火後、掘削部でバグ挿入にて応急措置を行い、同日、破損箇所取替えにて修繕済み。消防にて周辺道路の交通規制(85分)を実施した。
1/10	京都	水道工事	都市ガス	0	他工事業者(水道工事業者)が水道工事中、カッター切りにて埋設供給管を破損。ガスが漏れ出したため、消防にて周辺道路の交通規制及び付近住民3名の避難(何れも96分)を実施した。
1/12	和歌山	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)が道路下水工事中、掘削機にて埋設供給管(不明管)を破損。ガスが漏れ出したため、消防にて周辺道路の交通規制及び付近住民5名の避難(何れも92分)を実施した。
1/14	沖縄	土木工事 駐車場整備	都市ガス	0	土木業者が駐車場整備のため、1号棟前掘り起し工事の際、PE管に気付かず接触しPE管が破損、破損部分修復のため、一時的に全世帯供給停止措置(1~4号棟、91世帯)
1/21	宮城県	解体工事	都市ガス	0	建物の解体中に敷地内に埋設されていた不明管を重機により損壊し、漏出したガスに何らかの原因で着火、警察が付近の道路の通行規制を行った。事故の原因は、導管があるにもかかわらず十分な確認を行わず、解体業者からの事前照会に対し「埋設管は無い」と回答したため。
1/26	長野県	土木工事	LPガス	0	公共施設において、集中監視センターから合計・増加流量遮断の連絡を受け、販売事業者が出動したところ、土木工事業者が埋設配管を損傷していたことを確認した。 原因は、土木工事業者と販売事業者との連絡不足により、作業者が埋設管を把握できておらず、誤って重機で切断してしまったため、ガスが漏れ出したもの。
1/28	東京	解体工事	都市ガス	0	高校での他工事において灯内内管(白管、32mm)を誤ってサンダーで切断し、漏れたガスに引火し火災に至ったもの。天井約4平方メートルを焼損した。
2/6	福岡	水道設備 工事	LPガス	0	共同住宅において、水道設備工事業者が下水道管の入替工事を行っていたところ、ドリルで埋設供給管を損傷し、ガスが漏れ出した。 原因は、工事業者が事前に販売事業者へ工事内容の通知と配管位置の問い合わせを行わなかったため、ガス管が埋設されていることの認識がないまま工事を行い、埋設供給管をドリルで誤って損傷し、ガスが漏れ出したもの。

2/7	埼玉県	解体工事	LPガス	0	共同住宅において、解体工事業者が1階店舗の工事を行っていたところ、掘削機で埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。原因は、解体工事業者が工事前に販売事業者へ問い合わせをせず、埋設部の設備の状況が未確認だったため、また、販売事業者に立ち会いの要請をしなかったため、ガス管が埋設されていることの認識がないまま工事を行い、埋設供給管を掘削機で誤って損傷し、ガスが漏えいしたものの。なお、販売事業者から他工事業者への工事の際の周知が十分ではなかった。
2/9	神奈川	内装工事	都市ガス	2	設備工事業者より内装工事中にガス管を損傷した旨の連絡を受けた。灯内内管(白管40mm)をガスが止まっていると思い電動のこぎりで切断しガスが出たためプラグ止めにて応急措置後、水道管を切断したところ滞留していたガスに着火したもの。作業員2名が火傷(軽症)にて病院で手当を受けた。火災認定有り。
2/27	広島	電気工事	都市ガス	0	マンションの電気工事を行っていた業者が、接地棒を打ち込んでいたところ、灯外内管を破損し、ガスが漏えいした。ガスの漏えいを止めるためにバルブを閉止したことにより供給支障となった。
2/27	埼玉	宅地造成工事	LPガス	1	造成地において、宅地造成業者が工事中に、埋設された供給管を重機で損傷し、ガスが漏えいした。その際、連絡を受けて駆けつけた販売事業者が、損傷箇所からの漏えいを止めようとしたところ、掘削した穴の中で酸素欠乏状態となり、軽症を負った。原因は、宅地造成業者が、工事現場におけるガス管の埋設状況について販売事業者へ事前の確認をしなかったため、ガス管が埋設されていることの認識がないまま工事を行い、埋設された供給管を重機で誤って損傷し、ガスが漏えいしたものの。
3/6	埼玉	道路工事	都市ガス	0	雨水管の撤去作業中、重機にて供給管を誤って損傷し、特定製造所にてガスを止めたことにより当該団地内が供給支障となったものの。
3/16	千葉	地盤調査工事	都市ガス	0	需要家宅の地盤調査を行っていた調査会社より調査箇所付近でガス臭がするとの連絡及び当該需要家より台所シンク下より出火したとの連絡を受け確認したところ、灯外内管(PE管25mm)と排水管が損傷しており、台所シンク下の収納物が一部焼損していた。地盤調査工事中にガス管と排水管を損傷し、漏出したガスが排水管を通じて台所シンク下へ流入、コンロの火に引火したものと推定。
3/26	沖縄	建替工事	都市ガス	0	当該団地は建て替え工事中であるが、重機がガス管を破損し、第2特定製造所からの供給先292地点に約2時間の供給支障が発生した。
3/28	東京	建設工事	都市ガス	0	建設工事業者が敷地内の基礎工事の杭打ち作業に伴う掘削作業の際、敷地内に埋設設置されていたガス管(灯外内管25mm)を誤って引っ掛けた結果、歩道に埋設設置されたガス管部分(供給管25mm)が損傷した。出動した消防・警察にて付近道路(延長約170m、幅員28m)を交通規制した(2時間10分)。

4/2	東京	排水管工事	都市ガス	1	商業ビル地下1階にて排水管工事中、作業員がガス管(灯外内管(白管:50mm))を排水管と間違えドリルにて損傷させ、漏えいしたガスに着火したもの(未照会工事)。作業員1名が火傷を負った。
4/8	神奈川	造園工事	都市ガス	0	建物敷地内にて造園工事がコンクリートカッター施工中、誤って灯外内管(PLP:25mm)を損傷した(未照会工事)。安全面から引込み遮断バルブを閉止したことにより104件の供給支障が発生した。
4/12	神奈川	解体工事	都市ガス	0	マンション1階にて床のコンクリート剥離中、作業員がピックにてガス管(灯外内管(50mm))を損傷させ、ガスが漏えいしたもの(未照会工事)。消防・警察にて、安全面から16:03~17:00の間、住民10人の避難誘導及び前面道路(幅員4m全面、延長70m)の交通規制を実施。
4/15	大阪	下水工事	都市ガス	0	他工事業者(下水工事業者)が敷地内の下水道工事中、電動カッターにて埋設灯外内管(不使用管)を破損し、ガスが漏えい・着火した。ガス事業者にて破損箇所の上流側で灯外内管を切断・プラグ止めに措置済み。火災認定有り。
4/16	兵庫	設備工事	都市ガス	0	集合住宅において、他工事業者(設備工事業者)が、防犯カメラ設置工事のため、パイプシャフト内にてコンクリート床に電動ドリルにて穴あけ作業中、誤って共用灯外内管を破損。ガス事業者が現場到着し、応急措置のため、特装バルブを閉止したことにより、供給支障が発生した。
4/20	東京	解体工事	都市ガス	0	共同ごみ置き場の解体中、ユンボにて灯外内管(PE管:75mm)を損傷した(未照会工事)。引込み管遮断バルブを閉止したことにより37件の供給支障が発生した。
4/20	宮城	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が水漏れの修繕作業で建物外壁の切断を行っていたところ、配管用フレキ管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、当該配管用フレキ管は、建物外壁の隠ぺい部に敷設されていたため、外壁切断時に誤ってフレキ管を損傷し、ガスが漏えいしたもの。
4/22	山口	水道工事	LPガス	0	共同住宅において、水道工事業者が漏水箇所の調査のため掘削作業を行っていたところ、埋設供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、水道工事業者は埋設供給管が近接していることを認識していたが、供給管の立ち上がり部が少し離れたところにあったため、掘削を行い、誤って供給管を損傷しガスが漏えいしたもの。 なお、水道工事業者からは、販売事業者に工事をする旨の連絡がされていなかった。
4/28	千葉県	電柱工事	都市ガス	0	消防からの通報を受け確認したところ、電気工事(仮設電柱設置工事)の際、ガス管の位置を確認せずに掘削したことで休止中の灯外内管(被覆鋼管、25mm)を損傷していた。消防・警察にて市道(幅6m、延長100m)の交通規制(43分間)を行った。

5/13	京都	建設工事	都市ガス	0	他工事業者(コインパーキング建設工事業者)が敷地内舗装カッター切り中、埋設灯外内管を破損。ガスが漏えいしたため、消防にて周辺道路の交通規制(25分)を実施した。
5/15	鳥取	土木工事	LPガス	0	空き地において、土木工事業者が道路建設予定地の埋蔵文化財調査のため、重機による掘削作業中に、埋設供給管を損傷してガスが漏えいした。 原因は、施主や土木工事業者は販売事業者への事前照会をしておらず、ガス管が埋設されていることの認識がないまま工事を行い、埋設された供給管を重機で誤って損傷し、ガスが漏えいしたものの。
5/19	福岡	空調設備工事	LPガス	0	下水道管理センターの水質試験室において、空調工事業者が空調設備のドレン配管敷設のため、コンクリート床の掘削を行っていたところ、埋設配管を損傷してガスが漏えいした。 原因は、工事業者が配管図面の確認を行っていなかったため、誤って埋設配管を損傷してガスが漏えいしたものの。
5/21	新潟	解体工事	都市ガス	0	家屋解体工事の際に、解体業者がメーター移設済みのメーター立管(灯外内管、白管、25mm)を切断機にて切断したことにより、漏えいしたガスに着火し、周囲の木材を焦がしたものの。
5/22	東京	排水管工事	都市ガス	0	マンション敷地内で他工事業者が排水工事中、電動コア抜き機で灯外内管を破損。 13:50に需要家用遮断バルブを閉止し、当該マンションの61件の供給支障が発生。(未照会工事) 応急措置ののち17:33供給再開(供給支障3時間43分)。
6/1	埼玉	造園工事	LPガス	1	一般住宅において、造園工事業者が敷地内の駐車場ではつり作業を行っていたところ、埋設された供給管を損傷してガスが漏えいした。その後、連絡を受けて出勤した販売事業者が供給設備の元弁を閉めたのち、工事を再開したところ、爆発が発生し、作業員が軽傷を負った。 原因は、造園工事業者が住人から埋設管の存在を伝えられておらず、また、埋設管の上部に設置されていた埋設管シートを確認せずに作業を進めたため、誤ってはずり工具で埋設管を損傷し、ガスが漏えいしたものの。その後、出勤した販売事業者が供給設備の元弁を閉止したが、すぐに工事業者へ作業再開を指示したため、損傷した箇所から供給管内のガスが放出されきっておらず、はずり作業の際に生じた火花が引火したものの。 なお、当該住宅は集団供給が行われているが、オール電化に転換したため供給を停止しており、埋設供給管が敷地内に残っている状態であった。
6/8	愛媛	解体工事	都市ガス	0	住宅のカーポートを撤去する工事のため掘削中にガス管を破損し、引火した。

6/15	東京	水道工事	都市ガス	0	漏水工事現場にてガスを損傷したとの通報を受け、建物への引込み管ガス遮断装置を閉止した(供給支障51件)。消防にて住居者30名を歩道上に避難誘導するとともに、歩道を45分間規制した。原因は、水道工事会社がガスの位置を確認せずコア抜き作業を行い灯外内管(32mm PLP)を損傷したものの。
6/20	北海道	排水管工事	LPガス	0	共同住宅において、排水管工事業者が工事作業中、埋設された供給管を損傷し、ガスが漏えいした。 原因は、工事業者が排水工事のため重機で当該共同住宅の基礎の側面付近を掘り起こしていたところ、排水管近辺に埋設されていた供給管を誤って損傷し、ガスが漏えいしたものの。
6/21	東京	建設工事	都市ガス	0	建築業者より敷地内掘削工事中にガスを損傷したとの連絡を受け確認したところ、不使用供給管(プラスチック被覆鋼管 32mm)が損傷していた。消防にて付近道路(環状八号線内回り片側3車線のうち2車線100m、歩道52m)を規制し交通の困難を招来したものの(1時間55分)。
6/22	愛知	(敷地内)舗装工事	都市ガス	0	集合住宅敷地内において舗装工事会社がコンクリートカッターで切り中のところ、灯外内管を損傷した。引込管バルブを閉止したことにより111件の供給支障が発生した。
6/29	静岡	解体工事	LPガス	0	一般住宅において、建物解体業者が当該住宅の解体工事を行っていたところ、埋設供給管の引込部を損傷してガスが漏えいした。 原因は、埋設されたガス管の存在を建物解体業者が認識しないまま工事を行ったため、工事中に誤ってガスを損傷し、ガスが漏えいしたものの。 なお、当該住宅では集団供給が行われているが、住人は別の販売事業者と独自に契約してガスの供給を受けていたため、埋設供給管を使用していなかったことから、建物の解体に際して集団供給を行っている販売事業者により工事の事前連絡をしていなかった。
7/8	広島	(敷地内)舗装工事	都市ガス	1	他工事にて灯外内管をサンダーで切断作業中に漏洩したガスに着火し、他工事業者が顔面に火傷を負った。
7/9	東京	整地工事	都市ガス	0	敷地内整地工事中に建設機械にて灯外内管を引っ掛け、供給管を損傷したものの。消防にて付近道路(幅6m、延長約100m)を交通規制した(2時間55分)。供給管取り出し部にてプラグ止めにて復旧済み。
7/11	東京	改修工事	都市ガス	0	マンション1階の店舗改修工事の際に路面カッターにてガスを損傷したとの連絡を受け確認したところ、当該マンションの灯外内管が損傷していたことから引き込みガス遮断装置を閉止し、43件(当該マンション)の供給支障が発生した。
7/16	東京	地盤調査工事	都市ガス	0	敷地内地盤沈下の地盤調査工事中に建設機械にて灯外内管を損傷したものの。消防にて付近道路(幅5m、延長約150m)を交通規制した(63分間)。スライズオフにて遮断措置済み。

8/2	東京	下水道工事	都市ガス	0	下水道工事において、クレーンで工事機材を移動中にガス管上部に機材を落下させ、ねずみ鋳鉄管が損傷したもの。 消防にて付近道路(幅員7m×延長110m、幅員5.5m×延長145m、幅員5.5m×延長145mの3区間)を規制し、交通の困難を招来したもの。交通規制時間は、2時間20分(13:15～15:35)。
8/16	滋賀	建設工事	都市ガス	0	オール電化によりメーターコックまで通ガス状態で閉栓となっていた住宅の敷地内において、カーポート工事のため他工事業者が掘削中、埋設されていた灯外内管を損傷させガス漏れが発生し、警察、消防が出動し、前面道路約50mを1時間にわたり交通規制を実施した。
8/19	東京	建設工事	都市ガス	0	消防からガス管損傷との通報を受け出動したところ、住宅敷地内の門柱工事中に電動ハンマーにて灯外内管(プラスチック被覆鋼管40mm)が損傷、消防にて付近道路(幅員6m×延長75m)が規制され、交通の困難を招来したもの。交通規制時間は、28分(11:02～11:30)。 損傷管の復旧工事は15時頃に完了。
8/30	宮城県	水道管工事	都市ガス	1	水道管工事のため駐車場コンクリートの切断中に誤って灯外内管を切断しガスが漏洩した。ガス臭を感じていたがコンクリートの破碎作業を継続したところ漏出したガスに着火、作業員一名が軽傷。 事故の原因は、導管の位置想定の誤りと、ガス臭がある状態で作業を継続したこと。
9/4	神奈川	地盤調査工事	都市ガス	0	地質調査業者が地盤強度調査のためボーリングをしたところ、敷地内のPE管(75A)を損傷した。漏えいしたガスを閉止するためバルブを閉止した結果、48戸の供給支障となった。
9/13	東京	電気工事	都市ガス	0	宅内にて電気工事を行っていた業者が、ドリルで灯内内管(金属フレキシ管10mm)を損傷させ、漏れたガスに着火。一部壁を焼損した。
9/13	東京	水道管工事	都市ガス	0	敷地内にて水道業者が削岩機(ピック)でPE管(30mm)を損傷させたもの。消防にて付近道路(幅5m、延長約50m)を交通規制した(18分間)。一部取り替えにて復旧措置済み
9/18	東京	建築工事	都市ガス	0	消防よりガス管に火が着いたとの連絡を受け現場出動したところ、コンクリート壊し作業中に灯外内管(ポリエチレン管30mm)を破損し、漏えいしたガスに着火したことを確認した。これにより、需要家宅の雨どい及び灯外内管の一部が焼損した。

9/19	千葉	下水道工事	都市ガス	0	敷地内の下水道工事中、工事施工者がピックにてコンクリートを研っていたところ、灯外内管を折損し着火した。出動した消防にて前面道路(幅11m、長さ77m)を実施した。
9/21	東京	下水管工事	都市ガス	0	他工事業者から下水管修理作業中にガス管を損傷したとの通報を受け出動したところ、当該マンションの埋設灯外内管の損傷とガス漏出を確認したため、当該マンションの引き込み管ガス遮断装置を閉止し、70件の供給支障となった。
10/7	東京	解体工事	都市ガス	0	消防より他工事によりガス管を損傷したとの連絡を受け確認したところ、消防にて前面道路(延長約35m、幅約5m)を交通規制していた(65分間)。掘削機の誤操作により灯外内管(白管25mm)を損傷したものの。
10/9	新潟	解体工事	都市ガス	0	閉栓需要家の建物外壁解体作業中に、ガスメーター立て管根元をグラインダーで切断したところガスが漏えいし着火したもの(未照会工事)。
10/9	千葉	敷地造成工事	都市ガス	0	敷地造成工事中に先行して埋設してあった灯外内管(PE管30mm)を折損しガスが漏出したため、消防にて付近道路(幅4.5m、延長120m)を交通規制した。
10/14	北海道	改築工事	都市ガス	2	改築工事を行っていた建築業者が、駐車場造成工事(掘削工事)を行うことをガス事業者に伝えなかったことから、埋設管の位置を示すことができなかった。建築業者が、掘削のためバックホーを使用中ガス管を損傷し、さらに当該ガス管を電動サンダーで切断しようとしたため着火し、2名が負傷を負った。
10/21	広島	改装工事	都市ガス	1	需要家敷地内にて他工事業者が電動ピックを使って作業中に灯外内管を損傷、漏洩したガスに引火し工事作業員1名が顔面に軽い火傷を負った。当該者は経過観察のため一泊入院。
10/25	静岡	電柱工事	都市ガス	0	他工事(電柱立替工事)において、オーガーにて中圧本管(アスファルトジュート巻鋼管100mm)を損傷(未照会)。消防・警察により周辺道路約300mを交通規制した。中圧路線上のバルブを閉止したことにより専用ガバナが設置してある3件(工業用2件、中学校1件)が供給支障となった。